

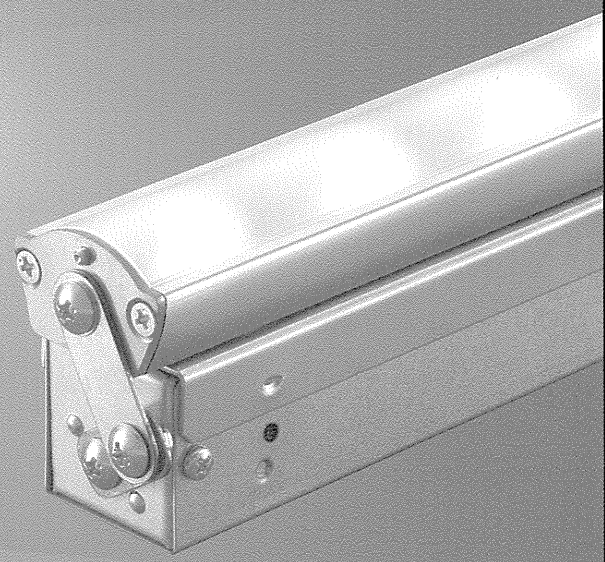
JCD

Kansai

2011.3.Vol.66



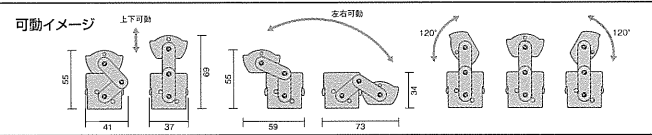
美しい、〈LED〉間接照明 LED INDIRECT LIGHT



LZ II

DECOLED'S New Products

フレキシブル構造により様々な造作形態に対応できる間接照明
灯具がフレキシブルに可動し、様々な造作に柔軟に対応できる間接照明です。
灯具の回転により照射方向の調節も可能です。
また、拡散カバーの採用でLED特有のシャープな光を和らげ、蛍光灯に近いソフトな光で空間を演出できます。



<p>LED45W</p> <p>LZY-90486YT (電球色 2,700K) 1495 LZY-90486NT (電球色 4,000K) 1495 ¥37,000 (税別)</p>	<p>LED35W</p> <p>LZY-90397YT (電球色 2,700K) 1495 LZY-90397NT (電球色 4,000K) 1495 ¥34,000 (税別)</p>	<p>LED25W</p> <p>LZY-90483YT (電球色 2,700K) 761 LZY-90483NT (電球色 4,000K) 761 ¥23,500 (税別)</p>	<p>LED20W</p> <p>LZY-90394YT (電球色 2,700K) 761 LZY-90394NT (電球色 4,000K) 761 ¥22,000 (税別)</p>
<p>LED30W</p> <p>LZY-90485YT (電球色 2,700K) 1251 LZY-90485NT (電球色 4,000K) 1251 ¥32,500 (税別)</p>	<p>LED30W</p> <p>LZY-90396YT (電球色 2,700K) 1251 LZY-90396NT (電球色 4,000K) 1251 ¥30,000 (税別)</p>	<p>LED15W</p> <p>LZY-90482YT (電球色 2,700K) 516 LZY-90482NT (電球色 4,000K) 516 ¥18,500 (税別)</p>	<p>LED15W</p> <p>LZY-90393YT (電球色 2,700K) 516 LZY-90393NT (電球色 4,000K) 516 ¥17,500 (税別)</p>
<p>LED30W</p> <p>LZY-90484YT (電球色 2,700K) 1006 LZY-90484NT (電球色 4,000K) 1006 ¥28,000 (税別)</p>	<p>LED30W</p> <p>LZY-90395YT (電球色 2,700K) 1006 LZY-90395NT (電球色 4,000K) 1006 ¥26,000 (税別)</p>	<p>電源内蔵 電源内蔵なので電源の置き場を別途設ける必要がなく、2次配線も不要な省施工タイプです。本体側面の連結端子台にVVF線を差し込むだけで100V点灯できます。(別注にて200V対応可能)</p>	

ハイパワーLEDライン照明

OUT DOORには、こちら

全10タイプ
LED: 45 / 38 / 30 / 23 / 15W
光色: 電球色 2,700K / 白色 4,000K
灯具長さ: 1,498 / 1,253 / 1,008 / 763 / 518mm
電源内蔵

可動イメージ
130
111
67
105°
105°

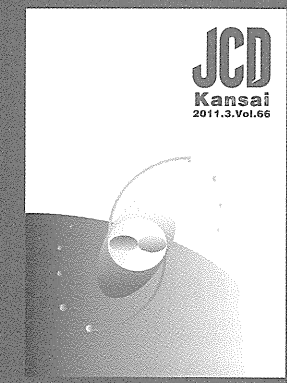
LED照明[LZ]シリーズに関するお問い合わせは、こちらまで
大光電機株式会社
本社/Tel.(06)6222-6240 Fax.(06)6222-6252 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7高麗橋ビル
http://www.lighting-daiko.co.jp



DAIKO はチャレンジ 25 キャンペーンに参加しています。

JCD Kansai 2011.3 Vol.66

[表紙・デザイン]
「5次元宇宙」
MINO CREER (ミーノ・クレエ)
友田みのり



地球号いま、5次元へパラダイムシフト中!

2011年(平成23年)3月号
vol.66 平成23年3月発行
発行/社団法人
日本商環境設計家協会
関西支部
〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビル ITM棟10階A-1
(財)大阪デザインセンター内
Tel./Fax. 06-6613-5557
広報企画委員会
委員長/三嶽 穂積
委員/青野 恵太 岡島 昇
先崎 綾華 友田みのり
長山 博 野井 成正
橋本 健二
制作/グラフィックアーツ ヘルテ

社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部
JCD KANSAI 2011年3月 第66号

04 ● 特集

JCD Kansai デザイナーズアクセス2011

全体概要 ————— 衣笠 和宏
審査報告 ————— 白井 進
デザイナーズトークバトル

12 ● 特集

JCDデザインアワード2010

JCDデザインアワード2010 審査評 ————— 岩佐 達雄/近藤 康夫
受賞作品紹介 ————— 須藤 玲子/古谷 誠章
前田 尚武/飯島 直樹

16 ● 報告

委員会報告

第4回デザインカレッジ
「JCD創立50周年記念事業」について ————— 白井 進
第1回JCD Kansai セミナール ————— 藤村 正継

18 ● 連載

Working Now

新入会員紹介 ————— 浦田 恭資・栄 隆志
大田 耕造
新入賛助会員紹介 ————— エスケー化研(株)
(株)日吉屋

20 ● 報告

JCD関西支部活動報告

2010年度支部総会 ————— 大東 俊也
日本の空間デザイン展2010 ————— 末浪 伸浩
平成22年度 第2回大阪市あきないグランプリ JCD賞決まる ——— 山田 悦央
JCD関西ビアパーティー ————— 大東 俊也
第31回JCD・DDA合同チャリティー絵馬展 ————— 市川 邦治
るるぶ会 ————— 金沢 明彦

JCD kansai
協力賛助会員

JCD Kansai デザイナーズアクセス2011

全体概要

JCDでは、2011年1月28日(金)四つ橋線/北加賀屋・名村造船所跡地/STUDIO PARTITA(近代化産業遺産登録)に於いてDesigner's Circuit JCD50・デザイナーズアクセス2011を企画運営開催した。

前回の中津・丸甲倉庫の折はJCD kansaiとして開催されたが、今回はJCD50周年記念事業 Designer's Circuit JCD50(50周年をむかえ、JCDを新たに推進するための運動=サーキットと位置づけ)と賀詞交歓会を含め、全国のJCD関係者が一同に集うイベントになった。

メインイベントはデザインを通して経済に最も貢献したと思われるデザイナーに賞を差し上げるのだが、今回は全国の支部から選考されたデザイナーも含まれる事となった。

選考基準は以下の通り

- ① 支部エリアに於いてデザインを通して経済に最も貢献したと思われるデザイナー
- ② 造形的美しさを追及したデザインよりも商売繁盛に貢献しているデザイナー
- ③ 市場経済に対して話題性を取る事ができたデザイナー
- ④ 時流を見据えた新たな切り口を常に提供しているデザイナー
- ⑤ マスコミなどの露出度が高く、広く業界で認知されているデザイナー

以上を選考基準の反映項目とし、39歳以下のデザイナーに与える「ライジングデザイナーズ賞」と40歳以上のデザイナーに与える「ベストデザイナーズ賞」の二つの賞を用意した。

全国のJCD各支部から広くノミネート者を募り、他薦、自薦及びJCD会員である事は問わず募集を行い、最終的にはライジングデザイナーズ賞候補に4名、ベストデザイナーズ賞に9名のノミネート者で争われることとなった。

そして迎えたDesigner's Circuit JCD50 デザイナーズアクセス2011当日、1月28日(金)。冬空の下ではあったが一年で一番、熱い夜を! デザイナーズアクセス2011、いよいよ開催!

会場ではデザイナーズアクセス2011実行委員長 白井進氏の発声で

時代のせいになんかしてられない。

「あれも無理、これも無理」なんか言ってるやつに次代はつくれないし、次代に乗ることすらできないだろう。次代を自らの

デザイナーズアクセス2011 実行委員会事務局長 衣笠 和宏

手でつかみとろう。次代を切り開こう。今こそチャンスであることをみんなに知ってもらおう。今を生きるために、今、語り合おう!『RE&NEW:きっかけを見つけ出せ!!』とメインコピーがアナウンスされると大きな拍手が響いた。

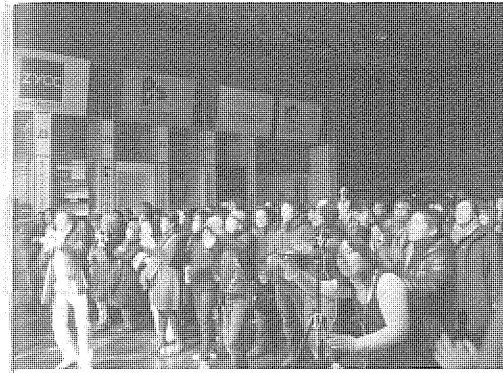
すでに会場では13時からの協賛各社の展示ブースの新製品を一目見ようと多数の来場者が集まり始める。まだスタートしたばかりの会場の内外にいつもと違う熱気が漂う。また、今回は名村造船所跡地の見学ツアーを地元のボランティアスタッフの方々が参加下さり、無料でツアーを行うなど、昼のイベントも盛り上がり、たくさんの方々がポスターに記載された、実寸の船の図面が床に描かれた部屋を拝見し、思わず「ほお〜」と声が漏れる程の感動の声が聞こえた。

会場の外のレッド・フレーム(壁の無い骨格と屋根のみの建造物)では、関西を代表する橋本健二建築設計事務所の建築デザイナー「橋本健二」氏のインスタレーションと夜が待ち遠くなる照明のデザインを今やテレビでもお馴染みのLEM空間工房の「長町志穂」氏によるコラボレーション企画が行われ、幻想的で美しい照明とのイリュージョンが見られた。食事もこだわり、クリエイターによる屋台やカフェなども楽しめた。

会場内は夜が近づくとエキサイティングなムードになり、午後5時、夜の部の開催が告知されると、業界を代表するビッグデザイナー、JCD理事の飯島直樹氏を筆頭に小坂 竜氏・橋本夕紀夫氏、辻村久信氏、服部滋樹氏によるデザイナーズトークバトルがエディターの笈川 誠氏のコーディネートが始まる。これだけのデザイナーが一堂に会することはほとんどない、それだけに会場は一言一句聞き漏らさないぞと、緊張感いっぱいの雰囲気の中、90分のトークバトルは、それぞれデザイナーの個性がぶつかり合い、「デザイナーズトークバトル」にふさわしく90分をオーバーしてしまうほどの内容であった。

ここでガラリとムードが変わり「こんな時期に初めてやったわ」と思わず出演者がいっほどの大阪夏の風物詩でもある、大阪難波、八坂神社『凜打講』メンバーが登場し、交流委員会 大東俊也委員の解説の中、天神さんのお囃子と縁起の良い龍の舞を披露して頂き、大盛況だった。

そして19時、アナウンスが流れ「お待ちかねのパーティタイム!開始!」20歳以上の方はお酒を飲める時間が告知され



会場外のクリエイター屋台(といってもとてもお洒落)、カフェには人がいっぱいいて和やかな声があちこちで聞かれた。また厨房機器メーカーのマルゼン様のご協賛でフランス産クロワッサン実演で、なんと試食コーナーも出現!但し、食べた方には今回のゲスト、公益財団法人関西盲導犬協会から駆けつけてくださったキャンペーン犬と盲導犬協会の藤本氏への寄付にご協力頂き、盲導犬育成募金35,096円を寄せた。

会場内ではいよいよ「大名刺交歓会」。再登場はびっ姿の「凜打講」メンバーによるにぎやかなお囃子と踊りの中、「デザイナーズトークバトル」パネラーの方々も登場し、前後左右そして一人飛んで一人、少なくとも5名の方々とも名刺交換し、新たなビジネスチャンスに繋がると、大いに盛り上がった。この頃、会場は中も外も人で溢れかえった。

舞台上では引き続き、今回の開催に際し、多大なご協力を頂いた協賛企業、そしてJCD賛助企業各社による企業紹介パフォーマンスが始まる。ほろ酔いかげんの藤村賛助委員長のハリのある声と共に次々と賛助企業が壇上で紹介されていく。来場者は今回特に立体的な展示が目立った賛助企業の説明により企業展示ブースに目を見張るという場面は、賛助企業にとって絶好のPRチャンスであった。

そして21:00、待ちに待った賞の発表と授賞式。会場内も外も人であふれかえる中、先にノミネートされた「ベストデザイナーズ賞」、「ライジングデザイナーズ賞」の業界を盛り上げてくれている授賞者の名前が読上げられ、壇上に上がったライバル同士が、キラリと目を光らせ、緊張感が増してくる。この中でグランプリを射止めるのはそれぞれの賞1名のみ。増していく緊張の中、授賞者が一旦壇上から下がり、いよいよ発表!「ベストデザイナーズ賞」(39歳以下)には、柳原照弘氏。なんと前回に続いて2度目の授賞、会場からどよめきと拍手がわきあがる。そして「ベストデザイナーズ賞」の発表の時が来た。一瞬静まり返った会場内に白井 進実行委員長の声が響く。「加藤博正さん!」瞬間、はじかれたように満場の会場から拍手と歓声が鳴り響き最高潮!

そんな今回のイベントも来場者はお洒落な格好でこられている方も多く、今回もその日一番お洒落な来場者を選ぶ「ベストドレサー賞」のアナウンスが流れ、今回は一般社団法人日本メンズファッション協会様にご協賛頂き、渉外局局長の

田中裕二氏がプレゼンターとして東京から駆けつけて下さり、男性1名、女性1名に会場から直接お声をかけられ、壇上で副賞と共に表彰。心む場面を演出、会場はなごやかな雰囲気にも包まれた。

感動と拍手がおさまらない夜21:30、ライブ担当・橋本健二氏のアナウンスでライブ開始。JCDメンバー中心の東京チームはパネリストも加わりメンバー10名、大阪は橋本健二氏参加バンドメンバー4名と、服部滋樹氏参加バンドメンバー8名のマイバンドといった3バンド。勿論、基本的にはアマチュアバンド、しかしプロでもおかしくないようなメンバーのリズムとサウンド、演出照明の光の中、「21世紀少年」からはじまった。観客の熱気と興奮は季節を忘れてしまうほど盛り上がり終わりそうもない!会場の中も外も時間をわすれ楽しんだようだ。

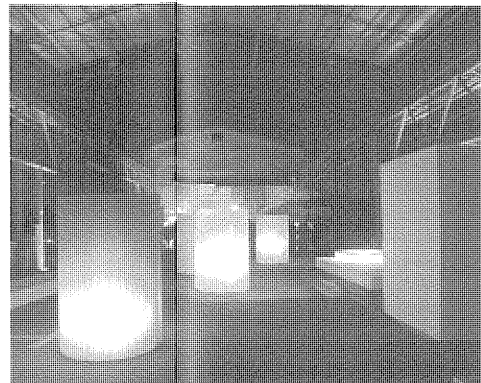
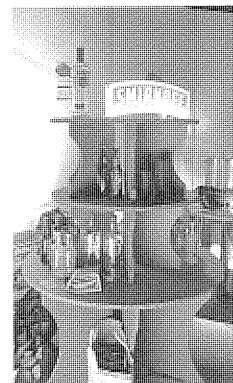
そして、最終電車の時間が近づく中、JCD50周年記念事業委員会 奥平与人委員長から御礼のご挨拶と中締めの後、そしていよいよ閉幕のアナウンスを聞いたのが午前零時、興奮冷めやらぬまま観客がそれぞれ帰り、無事終了した。

静まりかえった川沿いの名村造船所跡地に1千2百名を上回るような観客が酔いしれた後、白井実行委員長を筆頭にJCDスタッフ、ボランティアスタッフの学生とで会場の内外の清掃をし、全てが終わったのが午前1時30分過ぎ、明日の撤収に向け我々も会場を後にした。

そして、後日その後の審査員の皆様、協賛企業様、賛助企業様などへの礼状の発送、会計処理など、実務作業はイベント後も続いた。

研究委員会、交流委員会、広報委員会、賛助委員会のメンバーの皆様、委員長、支部長、理事の皆様、関係者の皆様のご協力なくしてこのイベントを実施運営することはできなかったと思う。

白井実行委員長の指揮の下、事務局長として運営させていただいたが、スポンサー獲得、運営面や学生ボランティアの手配、飲食手配などたくさんの方々のお世話になり、特に会場内のブースの提供から設営、撤去、フラッグの製作までご協賛、ご協力いただいた(株)キヌガワ 衣川正一様にも多大なご協力をいただきこの場をおかりして御礼申し上げます。有難う御座いました。そして最後にJCD KANSAIのメンバーが一丸となり成しえたDESIGNERS ACCESS 2011は次のステップへ向かうまた一つ大きな自信となって繋がっていく事は間違いありません。



JCD Kansai デザイナーズアクセス2011

審査報告

審査委員長 白井 進

今回の会場、名村造船跡地は敷地内に2本の休眠ドックと元工場であった建物が残されており、この4階にある無柱のドラフティングルームには、かつて船の原寸図を記したチョーク跡が生々しく残されている。今では名村アートミーティングが定期的に行われ、文化・芸術の発信基地として知られるようになり、近代化産業遺産に認定されたこの会場で『古き価値あるものの再生とともに地域に根ざした文化・伝統の継承』というテーマについて語り合いたいという主旨のもと、選考基準を『Re&NEW~反Scrap&Build』(リノベーションなどの古き価値のあるものの再生のみならず、地域に根ざした文化や伝統の継承と進化に対する貢献度とする)と設定し、JCDアワードのように個々の“作品”を

競い合うのではなく、デザイン活動を通して最も幅広く活躍した『若手のデザイナーを中心に“人”を引き出す』ことに主眼をおき、審査を行った。

全国の支部から推薦されたデザイナーはJCD会員を中心に13名。審査委員はトークイベントのパネリストとコーディネーターの6氏に支部長8氏、そして私に加わり15名とした。

審査の結果、ベストデザイナー賞は加藤氏が1ポイント差で橋本氏をリードし、グランプリを受賞。ライジングデザイナー賞も僅差で柳原氏が中村氏を押えて、デザイナーズアクセス2009に続いてグランプリを連続受賞した。

加藤博正さんの作品は、同じく近代化産業遺産群である桐生市のノコギリ屋根の織物レンガ工場跡地をベーカリー

カフェにリノベーションしたものであり、加藤氏の活動に対するグランプリの授与は、選考基準のハードルを高く設定しすぎた実行委員長の私の胸をなでおろすことのできた結果となった。



ベストデザイナー賞

加藤 博正 JCD 関東支部
インターコース



最近の主なプロジェクト
●ベーカリーカフェ/レンガ

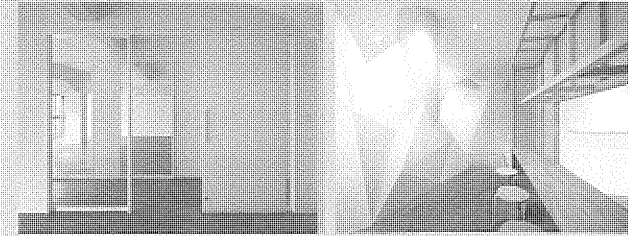
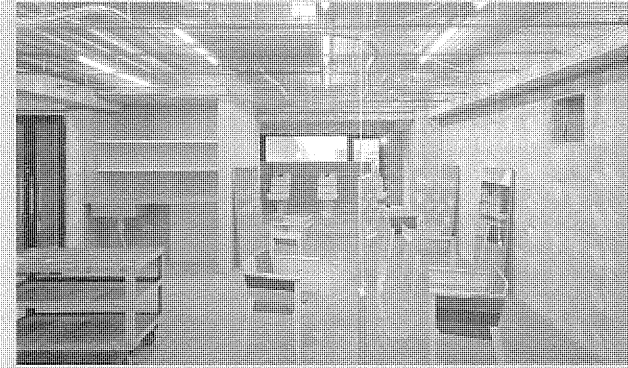


ライジングデザイナー賞

柳原 照弘 JCD 関西支部
株式会社アインレーションユニット



最近の主なプロジェクト
●KIZUKI+LIM (美容室、シンガポール)
●ACDCビルリノベーション (大阪)
●LIMCODE (美容室、東京)



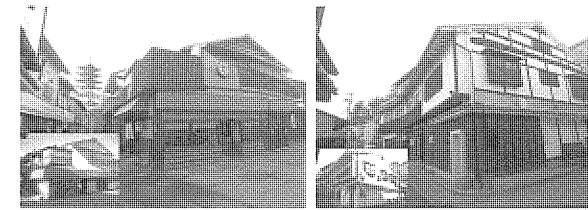
「ベストデザイナー賞」ノミネート者 (敬称略・順不同)

福島 俊を JCD 中国支部
福島俊を建築設計室

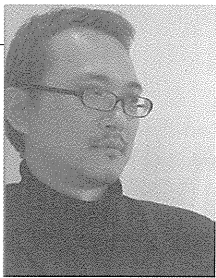


最近の主なプロジェクト

- 広島県廿日市市宮島町 町家通りの古民家再生事業「ゲストハウス菊がわ」、「旅荘かわぐち」、「ぎやらい宮郷」、「酒と器の久保田」、「勝井呉服店」
- ☆第4回はつかいち景観づくり大賞受賞(2006年)
- ☆第11回広島市街づくりデザイン賞受賞(2009年)
- ☆第12回広島市街づくりデザイン賞受賞(2010年)

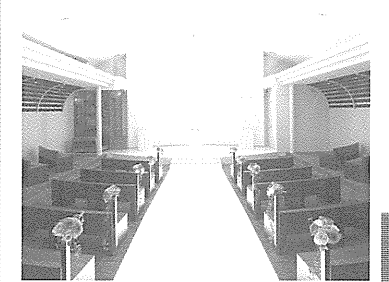


深江 章一 JCD 中部支部
深江章一デザイン事務所



最近の主なプロジェクト

- Le potager (フレンチレストラン、名古屋市千種区)
- AILE d' ANGE (フレンチレストラン、名古屋市瑞穂区)
- St. paulin Chapel (プライダルチャペル、名古屋市瑞穂区)

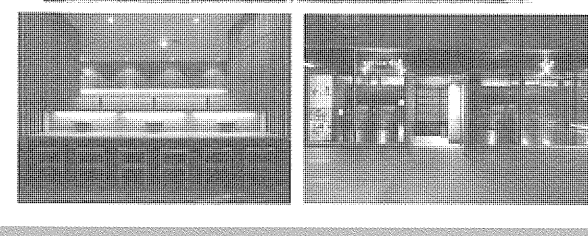
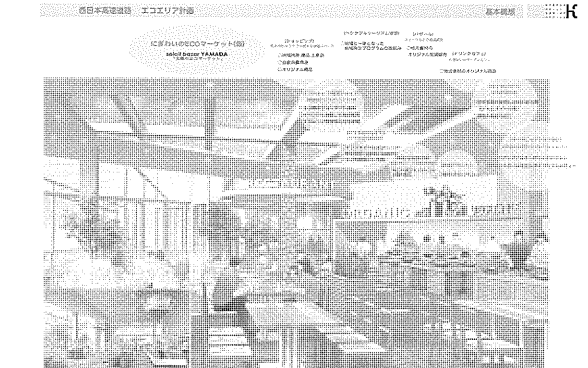


原田 啓二 JCD 九州支部
ハラダケージデザイン室

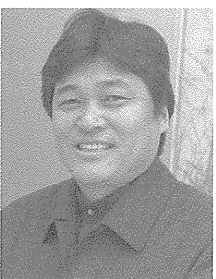


最近の主なプロジェクト

- 西日本高速道路 エコエリア基本計画
- 博多うどんすき 大福 電気ビル北館店
- 竹乃屋 電気ビル北館店

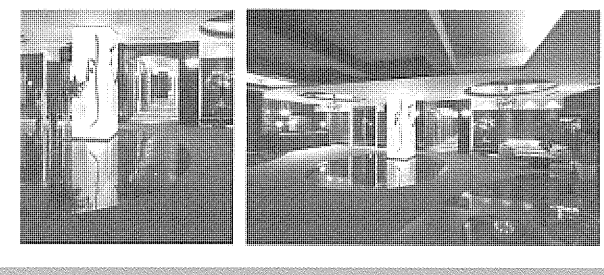


長尾 勝彦 JCD 四国支部
長尾勝彦+デザインオフィス



最近の主なプロジェクト

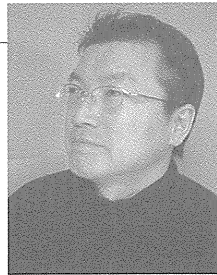
- エリナホール上福岡
- ラ。ターブル青山&阿部内科



JCD Kansai デザイナーズアクセス2011

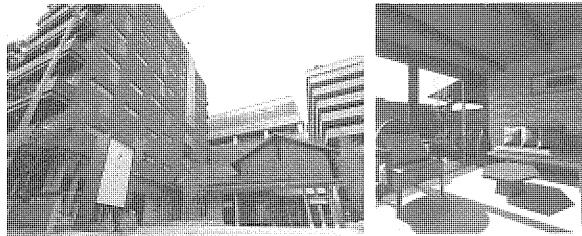
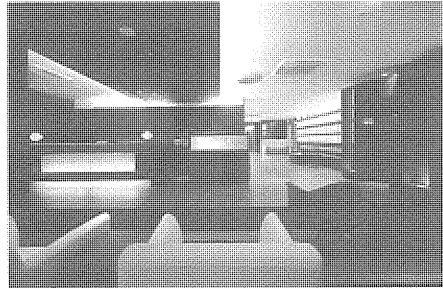
「ベストデザイナーズ賞」ノミネート者 (敬称略・順不同)

香川 眞二 JCD四国支部
グッドデザインスタジオ有限公司

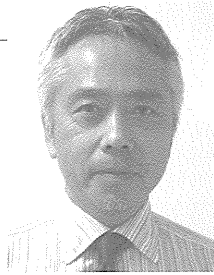


最近の主なプロジェクト

- 美術館北通り診療所 (香川県高松市) -- 高松丸亀町商店街参加運営する、地域医療再生・在宅療養を支援するクリニック
- 島宿真里3期 (香川県小豆島町) ... 醤油蔵を改装した、小豆島こだわりのおもてなし宿
- 道後やや (愛媛県松山市) -- 地元厳選食材・今治タオル・砥部焼等、愛媛を感じるビジネスホテル

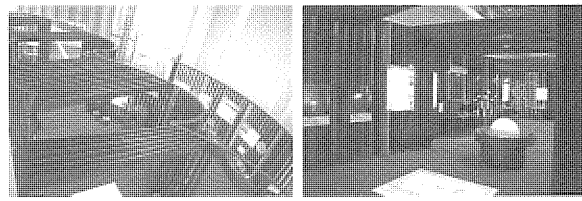


小泉 俊哉 JCD東北支部
株式会社小泉デザイン事務所

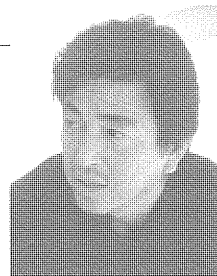


最近の主なプロジェクト

- '08ミラノサローネ展示、
- '08ジュネーブモーターショー展示企画
- 山形御殿塚再開発基本設計、
- 山形県産業科学館 (プロポーザル) リニューアル

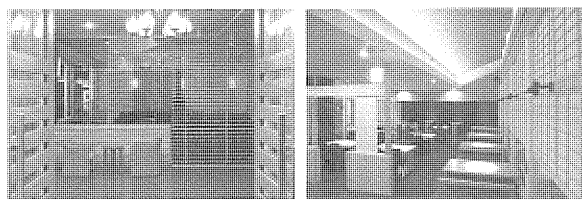


菅野 直志 JCD東北支部
株式会社商建設計

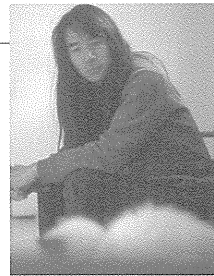


最近の主なプロジェクト

- 銀河高原ホテル ロビー、レストランリニューアル工事

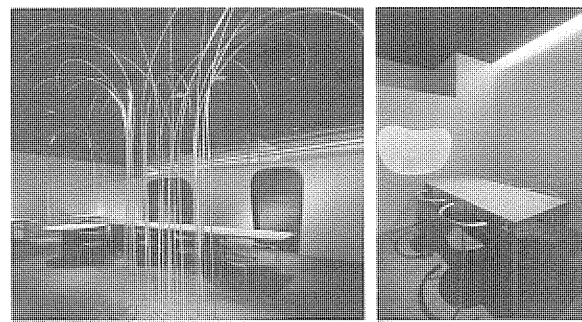
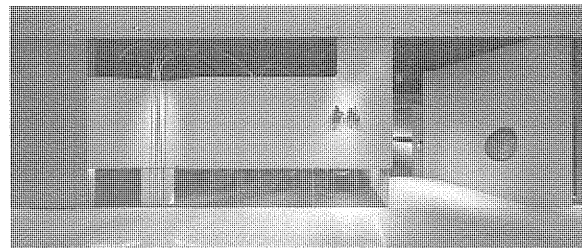


橋本 健二 JCD関西支部
橋本健二建築設計事務所



最近の主なプロジェクト

- 高麗橋吉兆 なんばダイニングメゾン/大阪府大阪市
- 湯の花温泉 湯山閣 (エントランスアプローチ) / 京都府亀岡市
- 美術家の応接室 / 大阪府大阪市



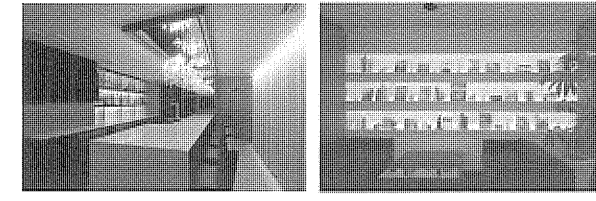
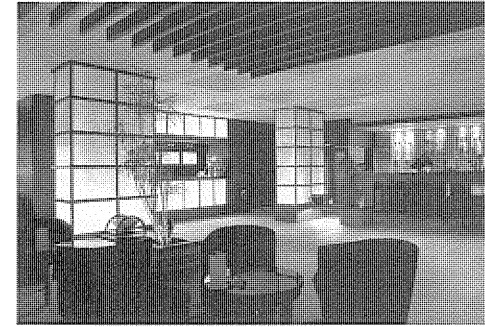
「ライジングデザイナーズ賞」ノミネート者 (敬称略・順不同)

中村 茂雄 JCD中部支部
中村 茂雄 デザインオフィス

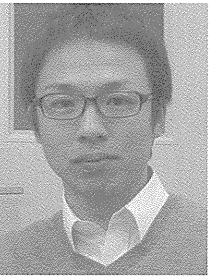


最近の主なプロジェクト

- SAYEN International Hotel (ロシア/イルクーツク)
- Moscow Apartments (ロシア/モスクワ)
- ジュピター宝飾 (香港)
- マックスレイ株式会社名古屋営業所 (名古屋)
- Bisous Kyoto Bar room (京都)
- ANA CROWNE PLAZA HOTEL GRAND COURT NAGOYA Chapel (名古屋)

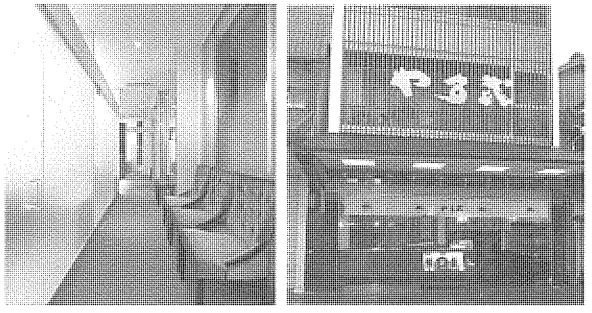
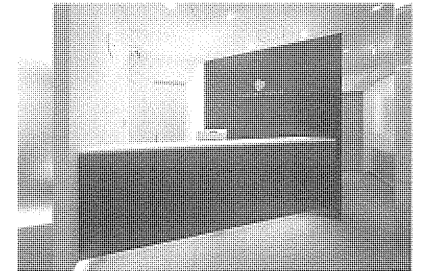


山村 義博 JCD九州支部
株式会社ズーム

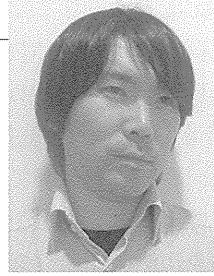


最近の主なプロジェクト

- 大宰府「やす武」
- デンタルサロン YAMORI

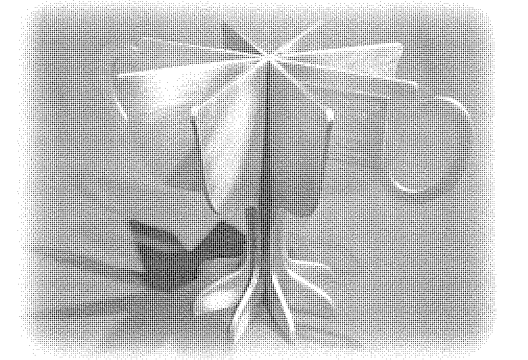
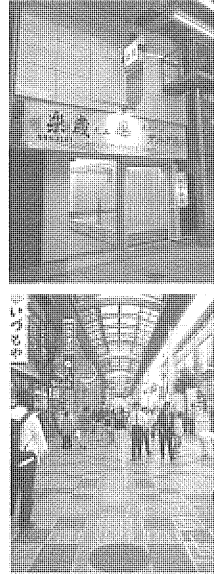
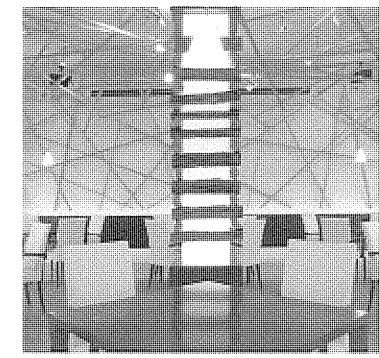


皿田 亮朋 JCD関西支部
株式会社ピクデザイン事務所

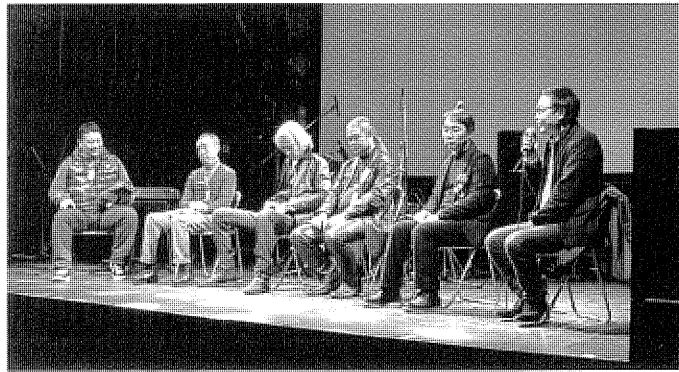


最近の主なプロジェクト

- イタリアンレストラン マガジーノ別室
- 関西大学リサーチアトリイ天神橋筋 楽歳天三・天満天神楽市楽座 内装設計
- ミナミ千日前商店街 カラー舗装デザイン
- 高野山真言宗弘法山 金剛寺摩仁堂 基本設計
- 1/80byエイティズEST店 内装設計
- ぶっち切り寿司 魚心 新宿総本店 内装設計



デザイナーズトークバトル



< デザイナーズトークバトル >

日時:2011年1月28日(金) 17:00~18:30
 場所:名村造船所跡地/スタジオバルティッタ
 テーマ:「RE&NEW~反Scrap&Build~」
 パネリスト:飯島直樹(飯島直樹デザイン室)
 小坂 竜(乃村工務社)
 橋本夕紀夫(橋本夕紀夫デザインスタジオ)
 辻村久信(ムーンバランス)
 服部滋樹(graf)
 コーディネーター:笈川 誠(バンブーメディア)

RE&NEW ~反 Scrap&Build~ (一部抜粋)

笈川 現状は、不景気、不景気という事でなかなか世の中ぐるぐる回っていかない。その中でなんかきっかけ作って動かして行こう。ではどういう事をしたらいいのか、どういう風な事をやっているかとか、そんな事をヒントに皆さん持ち帰ってもらえたらと思います。まずは自己紹介かたがた最近こんな仕事やっています的な話を。では年功序列で、服部さんから。

服部 グラフの服部です。僕達は割と建築設計からチョコレート1粒のデザインまで、ハードな設計だけではなくソフトを設計しながらハードを蓄積して行く、という方が最近ずっとやっている仕事のやり方です。最近だと、ビックイシューって知っていますか? ホームレスの方たちが販売しているイギリスのシステムで、半分がホームレスの人たちの給料として手渡されて、半分は雑誌の販売収入で運営会社がやってくっていく感じですが。世界ではじめてビックイシューのショップの販売の設計をやらせていただいて、ホームレスの人達は、実際、雑誌を仕入れて路上で販売するんですが、その時は社会復帰のために個人として仕事を求めていくという。ショップを持った事によって共同経営という仕組みが生まれる。今までホームレスって社会から離脱した人達なんですけど、共に協業していくという事でワンステップアップしていく状態で仕事をしていく場所を設計しました。世界で初めてなんですけど、大阪の阪神百貨店の地下街の角にオープンしてます。

辻村 あの服部さんみたいな面白い仕事はあまり。最近でいえば、一番僕がやってるのは、目立つのはファーストフードの仕事ですね。ブランディングからやっているのと、それと京都などで、清水寺とか知恩院のイベントの仕事とか、真理性の人達と新しい試みをいくつかやっているというのが最近の仕事ですかね。

橋本 橋本です。もともと商業専門の設計が多くて、ほとんどレストラン。たまにブティックとかそういうので設計してたんなんですけど、3年前にブルデンシャルホテルというのを東京で始めてまして、それを設計したくらいからジャンルというか

カテゴリーがいろんな方向に行きだして。最近ですと、病院の設計をしたりとか、住宅もあるし、海外でスパの設計をしたりとか。今まであまり病院みたいなインテリアデザインとかが入っていかなかったようなものを徐々に設計しています。

小坂 僕は商業施設の仕事が多いんですが、最近国内だと、大型の商業施設の環境とか、大型の施設、宿泊施設、あとすごく小さいお寿司屋さんとか、8人くらいのお店とか。商業施設自体の大きい物から小さい物までやらせて頂いています。あと、今うちの事務所の仕事の半分くらいは海外の仕事。海外は中国だったり、北京、上海、広州、広域にわたって、ホテルのほとんど…ホテルの客室だったりレストランだったり。そんな仕事はずいぶん来るようになって最近出張ばかりで、僕があまり(会社に)いないのでipadを持たされて。旅先で図面とパースを見て対応をしている、そんな感じです。

及川 経済状況とか色々な文化の背景とか欲求でクライアントからデザイナーとして仕事を請ける立場にいらっしゃる方は、要求が変わっていく事を目の当たりにする訳ですよ。長い年月で見てどういう風に変ってきたかという、ご経験された自分たちの所と現在というのはどんな風に…具体的にいうと、これ変わったわな～って言うのはありますか。

飯島 僕、1月にスリランカにいたんです。ジェフリーバーグ建築はものすごく美しい。美的慣性で厳密なデザインをしている。そのデザインが何かっていうと、建築なんですけど、デコレーション。インテリアデコレーションが抜群にうまい。70年代の日本インテリアデザインの時代を思い出すと、こういうものを全部否定しようという所から始まったというのを思い出したんです。アンチデザインとどう競合して、デコレーションで出来るようなタッチのデザインを全部否定して、形としてのデザインをしてきて、それと同じような事をこの間香港のフォーラムでデザイナーが言っていた。40年ぐらいの合算の間に同じ事がまた繰り返しているっていうのはすごいと思う。

小坂 商業施設の仕事をしながらだんだん似かよってきて、建築の若い子達が出てきて、建築でなくてインテリア

を創るっていう、表現が全く、発想が違うものをつくってくるので。僕らインテリアデザイナーと違う発想を空間のとりえ方ができたかな～ってそんな風に思いますね。それは今後彼らを作っていくと、すごくコンセプトでコンパクトなもので、彼らが年とっていく中で大きな表現になっていく時にどうなるのかなっていうのが記憶に新しい。

及川 橋本さんもスーパーポテトの後輩として、長い割と王道でインテリアのデザインファームとして事務所から独立されたと思うんですが変わったって言うところが浮き彫りになるところがあれば。

橋本 さっき飯島さんがアンチデザインって言う表現をされましたけど最近ですとノーデザインって言われますよね。実際には物とか空間はできてるわけでそれは強烈なメッセージを持つデザインとして現れてくるっていうような事があって、だから僕もノーデザインかって考えてるんですけど。もっと突き詰めると、デザインって何のためにあるのかなっていう事もある。人の為っていう事は、その人が空間とか物を体験した時にその感動を得たりとか、気持ちよかったりとか、逆に刺激的だったりとか、気持ち悪いのが気持ちいいとか、あくまで人の為で、空間とか物が先に立っちゃいけないのかなって思ってます。そういう意味でいくと、僕は非常にミニマムでシンプルでというスタイルを受け入れるし、あるいは、非常にデコラティブな物というのを受け入れるし、デコレーションとかそのそういったものをそぎ落としたシンプルっていうのは考えたくなくて、毎回デザインする時は、毎回目的がある訳で、その目的がデコレーションという方向が正解であればそっちを選ばし、シンプルのほうが必要だったらそっちにいく。そういったイメージでいくと、僕はあまり表面的な形のスタイルって持ちたくないなって思ってます。

飯島 辻村さんの世代は百貨店っていう背景が消えていて、百貨店という、年末の12月25日に有楽町西武が閉店になったんですよ。1Fをデザインしたの、1984年。僕の青春の最後。あれは西武百貨店の青春の最後でもあった。つまり日本の百貨店業界の構造が90年代に壊れた。その後に出てきたデザイナーは施主をかんでたから、ちゃんとか、新しい若い世代のクライアントとのコラボレーションでデザインを押し出してきている。それにいくともうひとつは、ファッションが大きかった。ファッションは今グローバルズムだ



けど、ファッションが変わったっていう事は我々の業界も変えた。90年代まではファッションと一緒にやって、毎月一緒にやったりとか、一つ場面を切り開いていった気がするけど、やはり90年代に一旦崩壊した。ファッションデザイナーにだって、残ってる人はあらゆる社会との接点を切り替えてる。戦略的に変えてる。つまり我々はクライアントがあつてはじめて成り立つ職業だけど、クライアント=社会が変わった。結果が辻村さんなり、服部さんなり、次っていう事じゃないんだけど、新しい0年代の建築家が参入してくる場面が新しいと思う。

及川 今そういう意味で、服部さんはもう少しやってる事も違うし、同じベクトルで語ってほしい訳ではないので何かあれば。

服部 クライアントの変化って言うのは多大にあると思います。未来の事考えた時に、最近21世紀の事言ってるんですけど、2011年こそが21世紀じゃないかって思っているわけなんです。やっぱり2000年から2010年までっていうのは20世紀に道を引かれた所を歩いている状況な訳で、同じ方法論で失敗してってですね、じゃあその2001年の時に自分達が21世紀と意識して、21世紀の方法論を使えたかって言うと、やっぱり幻想であって20世紀を引きずったままやってきたと思うんですよ。多分21世紀っていう事を意識してない気がして、最近それが気になってるんです。物のデザインではなくて、言葉デザインっていうところからものをデザインするっていう所に入っていると思うんです。例えば、最低限デザインしたとすると、最近よく例えるのが、ドラえものの空き地みたいなもんですよ。ドラえものの空き地って何があったかかっていうと、あそこがただ単にだだっ広い工事現場寸前の何も置かれなかった状態だった場合、ジャイアンはヒーローにならなかったかもしれないし、のびた君はああやって友達をたくさん作れたかっていうとそうじゃなかったかもしれない。だけどあそこに土管が3本あって、木が1本立ってられていて、ドラム缶が1つある。その状況を作ったがゆえにああいう物語が始まっているっていう事だけだと思うんですよ。でも21世紀に本当に必要な事って考えるともしかしたらそこにヒントがあるような気がして。何かのきっかけをおこす鍵が何なのかという。事なのか、ものなのか、空間なのか。その取り場を通りあって用意できるかっていう今考える時代なのかなって気がしています。クライアントが変わったっていうのはきっとあると思います。ユーザーが変わったっていうのは当然あると思うんですよ。20世紀に作られてきたものが、結果ユーザーを育てた訳なんだけども。なんか物の価値をほんとにわかった人たちが残っているかという、僕らとしてはそれが課題かと思っていて、育てるといっておこがましいですが、物の価値はステップ踏みながら理解しないとダメだと思う。そういう状況を見て70年代とか21世紀にはいったんじゃないかと思っています。

JCDデザインアワード2010

審査評

今回の応募者数は375点内海外からは17作品が寄せられ、その中から1次審査ベスト100の106作品(同票数のため)を5月に1次審査員20名にて選出、6/19に東京デザインセンターにて公開審査会を実施した。審査員は 飯島直樹、小坂竜、辻村正信、近藤康夫のJCD会員、外部審査員は須藤玲子、古谷誠章、前田尚武の各氏にお願いした。

ベスト100から銀賞以上28作品を選定、その中から金賞8作品を選び、さらにその中から大賞1点を決定、新人賞3点、審査員特別賞

若干の応募改訂のある中、また、この経済状態の中で、それほど応募点数が減っていないことは良かったと思う。商業施設の応募点数も比較的多かったが、年々さまざまなジャンルの応募が増えている傾向にあり、それに伴い、審査基準も難しくなっていると感じられた。

これは、今のコマーススペースが、専門店というよりも広がりを持って捉えられていることの現れではないか。これまで注目されていない分野であっても、より可能性を見だし、デザインの領域を拡大していくことは、非常に有意義なことである。

象徴的であったのが、大賞を受賞した、『ナインアワーズ』であろう。カプセルホテルという、これまでは、どちらかというとマイナーでネガティブな存在を、デザインの手で、魅力ある空間に変容させている。

テキスタイルは裸の身体を包みます。テキスタイルは私たちの身体の延長です。

その身体が生きる環境をつくるのが建築と言えます。ですから、テキスタイルと建築は、とても深いつながりがあると思います。

私が選んだ、この小さな改装プロジェクト「よつぱんち」からは、テキスタイルづくりを生業とする私にとって、パターン、色、素材、テクスチャーが見える、魅力的な仕事でした。様々な要素をバランスよく配置しながら新しさを表し、一方で歴史を刻んできた建築の構造と空間がすつと佇んでいます。新旧双方が不思議に共存し、印象に残った作品でした。古い趣と、新たに加えられた趣とが、それぞれの境界線を保ち

昨年に引き続き二度目の審査に参加した。主催者の意向で今年は展示デザインが対象外となり、応募作品はかなり違った趣で、また景気低迷の因果か、新規の飲食店デザインがめっきり減った感じでもあった。そんな中で、既成の業態の枠組みを超えて新たなコンセプトを提示し、ビジネスのモデルを刷新しようとする試みの中に、数々の秀作が見いだされた。機転の利いたビジネスのエスプリと、それに応えるデザイナーのウィットがうまく掛け合わされないと、いいデザインは生まれない。

大賞作品「ナインアワーズ京都寺町」はそうしたコンセプト、デザイン双方のシナジーが傑出していた。スペース、サインなどそれぞれのデザイナーの力量も相乗的に噛み合っていて文句がない。

金賞では北京の「ダンススタジオ」に惹かれた。まるで霧の中にいるようだ。今日では最早、美容室を単に髪を切りに行く場所と考えるデ

本年度の入賞作品8点は、「記憶に残る特別な行為」と「自然の現象や風景」をモチーフにした空間の、ふたつの傾向に大別できるように思う。

まず前者には、カプセルホテルで過ごす無味乾燥な出張をひとつの旅と感じてもらうために、睡眠を特別な行為として見つめなおす時間と空間をデザインし、大賞を受賞した《ナインアワーズ 京都寺町》が挙げられる。そして、巨大化した古書の形をした楽しげな棚が散在する《SOQS》は、愛着のもてる一冊の書物を探し出すように靴下を選ぶという物語を紡ぐ。美容室でのひとときを旅先でのワンシーンに見立てたような《コフレット》は、アンティークのトランクに鏡を隠し、本の頁にコンセントを仕込ませるなどささやかな演出が効果的だ。《予科練平和記念館》は、海軍飛行予科練習生たちが憧れた空を展示室の正方形の窓で切り取り、私たちを彼らの記憶へと誘う。これら

社団法人 日本商環境設計家協会デザイン賞委員長 岩佐 達雄

古谷誠章賞、須藤玲子賞各1点が確定した。したがって銀賞は15点となった。

今年はリーマンショック後の一番厳しい状況と思われたが、工夫を凝らした質の高い作品が多く、充実した審査となった。様々なジャンルとのコラボレーションも多くみられた。

厳しい予算の中でこの状況を打破する試みも多く、それがかえってわかりやすいデザインを示しているものもあった。大賞作品はそういう意味でも各分野のデザイナーの協働の結果として質の高まりが感じられる。

審査員 近藤 康夫

実現に至る経緯では、おそらく、クライアントとの相当な葛藤があったと推察され、デザイナーにはかなりのプレッシャーがあったのではないだろうか。それを乗り越え、プロジェクトを実現させたことに、デザインの可能性が感じられた。

本来、デザインとは、問題提起と解決法の提示によって、新しい可能性を見出すものであるべきだと思う。

物販店や飲食店といった、これまで商業施設の代名詞であった分野における受賞が少なくなっているのは、単にフォトジェニックであったり、簡単なレトリックの引用に留まり、こうした努力の経緯があまり見られないからではないだろうか。

世の中に対して発言していく、可能性あるデザインを今後も期待します。

審査員 テキスタイルデザイナー 須藤 玲子

ながら、生き生きとした風景を、外にも内にも生み出しています。その手法は、パッチワークのようで、たくさんのマチエールで構成されています。つぎはぎは、ハンス・ウエグナー、アルバー・アールト、アルネ・ヤコブセンの椅子も同様で、筆で点を描くようにリズムカルに配置されています。柱や階段は、空間のたてよこの比率を変える効果をつくり出し、作者の意図する空間に導いています。巨匠達の椅子は、さながら昔の緑台のように、懐かしい趣すらあります。建物の内と外を区別する大きな開口は、境界線が消え、とても開放的な空間をつくりだしています。

この建築が震源となり、街に伝搬し、界隈がどう変わってゆくのか、それを見届けたい気がします。

審査員 古谷 誠章

デザイナーはいないだろう。客がゆりのある何時間かを、くつろいで快適に過ごすための場所と考えられている。ダンススタジオやフィットネスジムも全くその延長上にあると思う。鏡張りの練習室の域から脱して、すでに陶酔して時間を過ごす場所へと変貌しつつある。この作品を見ていると、もしかしたら機能性一辺倒に見えるボクシングジムですら、早晚そうなるのではないかと思わせる。

そうした美容室の応募は、他の業種に比べると多かった。新規の飲食店が少なく分、美容室にささやかな贅沢を見いだす人が増えているのだろう。その中で僕が最も優れていると考えたのが、古谷誠章賞の「リコ」(藤沢市)である。一見なんでもない日常の空間が、突如として芝居の舞台になるかのようだ。しかも、他の多くの美容室のように演出され過ぎもせず、あたかも客自身が主役になったかのような気にさせる。とても秀逸だ。

審査員 森美術館 前田 尚武

の作品は記憶を素材にした舞台装置であるとも言える。

後者には、雲海の絶景体験を髣髴させるインスタレーションを天井裏に出現させた《DURAS Daiba》や、どこか懐かしい棚田の形を地域交流の場の象徴とした《TANADAピースギャラリー》、ジーンズのステッチを模した模様ユニークな合板の森《Labyrinth of Woods》、まるで濃霧のなかで踊っているかのような《Anzas Entertainmentダンススタジオ》がある。いずれも自然の知覚に基づいた空間であり、体験を通じてさらなる魅力に惹きつけられるだろう。

今年もまた、数多くの新鮮で意欲的な作品が選定され、空間デザインが私たちにもたらすものは何かを考える貴重な機会であった。昨年度はシンプルな空間に抽象かつ視覚的に訴える作品が多く入賞したが、今年はむしろ直接的で体験型といえる作品が際立っていたように思われ、JCD賞が年々この領域の可能性を押し広げていることを実感した。



大賞
Grand prize
ナインアワーズ 京都寺町
柴田文江 (クリエイティブディレクション/グラフィックデザイン)
廣村正彰 (サイン&グラフィックデザイン)
中村隆秋 (インテリアデザイン)



大賞評

カプセルホテルは奇酷な商売だ。サービスという商いの原則からみれば、これは商売の表現の極北でもある。そこまでなくてもいいではないか、といった冷えた視線が投げられる中での商売なのだ。ましてやこの案件の現場は京都である。文化品格攻撃光線を浴びなければならぬ。ことさらに奇酷なのだった。商業空間のデザインはそうした商売の奇酷さと常に向き合う。しかし時に、うまく向き合うことによってデザインを生き物のように躍動させることができる。このカプセルホテルのデザインは、そうしたことのしなやかな実現である。

「ナインアワーズ京都寺町」は、需要(寝るだけの9時間でいいんだけど)と供給(効率のいい積層カプセル)双方からの要請を即

JCDデザインアワード審査委員長 飯島 直樹

物的に表明した施設である。ホテルの雰囲気を(豊かさとかラグジュアリー感)の一切を断ち切り、物語性を漂白した空間が提示される。受付、シャワー、歯磨き、トイレ、就寝といった行為が目的以上の何者をも伴わず即物的にプログラミングされる。施設全体に行き渡るのは「これでいい」という断定、気持ちのいいミニマリズムだ。

デザインの力技とあっていい。3人のデザイナー(プロダクト、グラフィック、インテリア)のコラボレーションによるモノリシックな空間は、デザインの差配によってカプセルホテルを脱却し、その上で改めて商売と向き合い、京都の街の中に「9時間を滞在する新しい町家」をつくりだした。商業を媒介し状況を切り開いたことにおいて、「ナインアワーズ京都寺町」は今年の実験のなかで群を抜いていた。

■選考点数一覧表

	応募総数			入賞点数
	国内	海外	計	
1:買うこと	59	5	64	7
2:食べること	82	5	87	3
3:集うこと	32	1	33	1
4:楽しむこと	86	1	87	9
5:伝えること	99	5	104	8
合計	358	17	375	28

■入賞の内訳

大賞	金賞	新人賞	審査員賞	銀賞
	3			4
		1		3
1	2	1	1	4
	2	1	1	4
1	7	3	2	15

審査員賞
Jury's prize

撮影: 宮本啓介

古谷誠章賞 リコ

湯口 巖

タカラスペースデザイン株式会社

撮影: 飯本和代

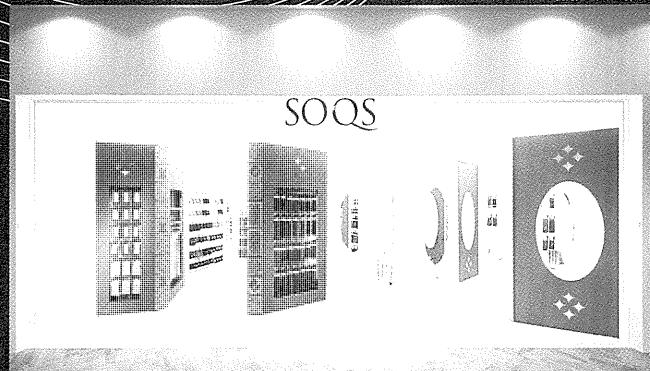
須藤玲子賞 よつぱんち

長野聖二

長野聖二・人間建築探検隊

JCDデザインアワード2010

金賞 Gold prize



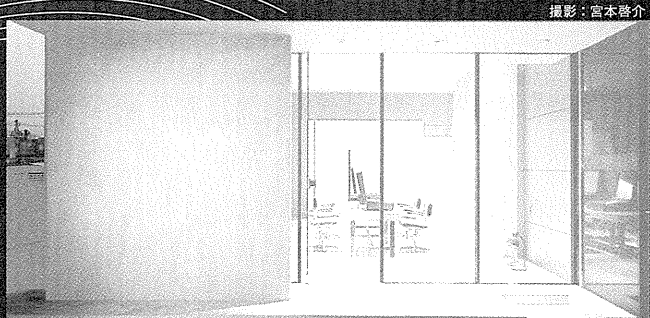
SOQS
KEIKO + MANABU 株式会社ナウハウス一級建築士事務所



DURAS Daiba
大野 力 株式会社シナト



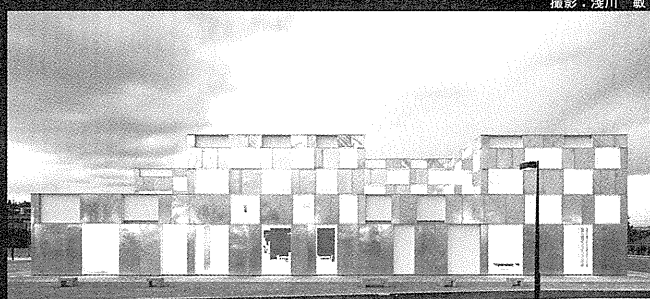
Labyrinth of Woods
長岡 勉+田中正洋 株式会社 POINT



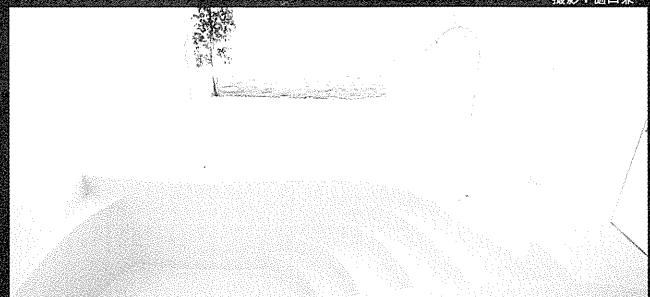
コフレット
湯口 巖+片平麻衣子 タカラスペースデザイン株式会社



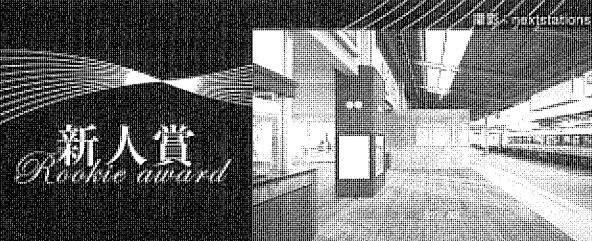
Anzas Entertainment ダンススタジオ
堤由 匡 堤由匡建築設計工作室



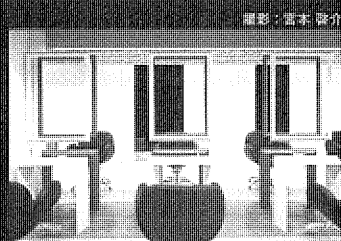
予科練平和記念館
吉永光秀+大西亮 株式会社乃村工務社 / 吉村靖孝 株式会社吉村靖孝建築設計事務所



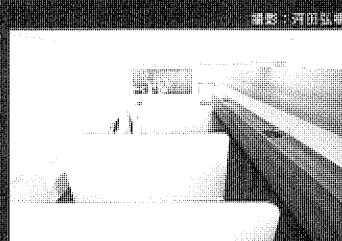
TANADA ピースギャラリー
山中コージ+山中悠嗣+山下麻子 GENETO



土佐くろしお鉄道 中村駅
川西康之+栗田祥弘+柳辰太郎 nextstations



C-STYLE
吉田昌弘 株式会社 KAMITOPEN 一級建築士事務所



竹村園科
今津康夫 ninkipen! 一級建築士事務所

銀賞 Silver prize



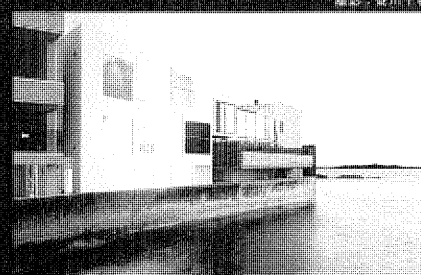
AYIN2
山隈直人 K1一級建築士事務所



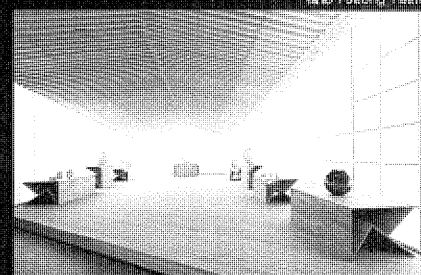
北京アウェイキング
迫摩一郎+長門宏明 株式会社 SAKO 建築設計工社



ノーチラス
河合優吉 有限会社デザインスピリッツ



Nowhere but Sajima
吉村靖孝 株式会社吉村靖孝建築設計事務所



Ceramic Space & Life
Park Seongchil Walga Associates Co., Ltd.



ポーラ ザビューティ銀座店
ジャン・フリック・ニエル AGENCE NUEL



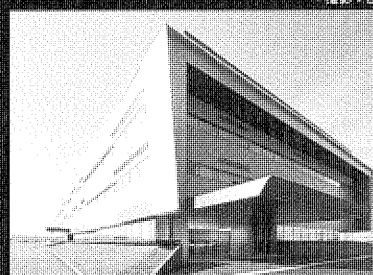
銀座文明堂 東銀座店
町田裕子 株式会社丹膏社



ほうどう不動
保坂 猛 保坂猛建築都市設計事務所



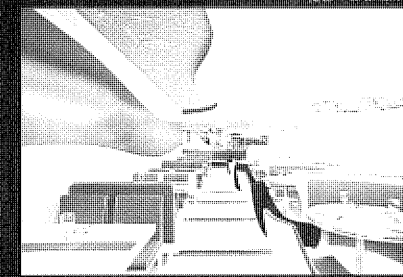
ベイサイドマリーナホテル横浜
吉村靖孝 株式会社吉村靖孝建築設計事務所



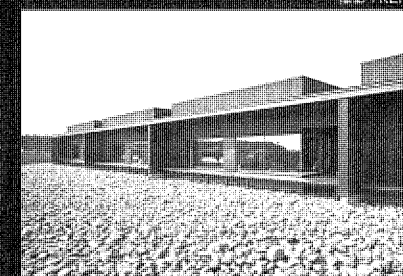
新日本製鐵君津製鐵所本館
山口広嗣+藤田純也+宮下昌嗣+田口裕子 株式会社竹中工務店



hair create VALON
幸川 航 タカラスペースデザイン株式会社



The Spaghetti House
Joey Ho Joey Ho Design Limited



江差旅庭 群来
中山真琴 株式会社ナカヤマアーキテクト



IZU PHOTO MUSEUM
杉本博司+柳田倫之 株式会社新素材研究所



中川政七商店新社屋
吉村靖孝 株式会社吉村靖孝建築設計事務所

第4回デザインカレッジ



< 第4回 デザインカレッジ >
 日時:2010年11月20日(土) 14:00~17:00
 場所:橋本健二建築設計事務所(茨木市)
 ゲスト:松尾 恵
 内容:14:00~15:30
 今回は京都を中心に多くのアートイベントなどを企画・運営されている松尾恵氏に現在の状況を語っていただきます。
 15:40~17:00
 軽く飲み物をいただきながら参加者全員でディスカッションタイム。
 参加者:16名+松尾氏

「ヴォイスギャラリー」を主宰し、京都を中心にアートイベントなどを多く企画運営されている松尾氏にアートイベントなどの現状と今後の状況などを含めて、話して頂いた。

近々では京都杉山邸で開催された【超京都】のイベントの意義や京都でのアートイベントでの苦労話、アートイベントにおける保険などの裏話、ギャラリー運営に関わる話など、日頃接する機会の少ない話などを話して頂いた。会場を橋本建築事務所の1階スペースに変えたことで講師と参加者の距離も近くなり、講師と参加者との

対話形式の話が多くなり、有意義な講演となった。またギャラリーも主宰する橋本氏との対談では、それぞれの思いなどを気楽な雰囲気の中で喋って頂き、聞き手との対話の中で話がいろいろな方向へ進んだ。最近のデジタル化の中でアーティストの傾向や身体的特徴まで話が及び、広がりのある話し合いになった。



「JCD創立50周年記念事業」について

50周年記念事業 副委員長 白井 進

JCD関西支部では一昨年(平成21年)の4月に50周年準備委員会を立ち上げ、記念事業の準備を進めてまいりました。

その年の秋に行いました1000人規模のビックイベント「JCD Kansaiデザイナーズアクセス2009」の成功を受け、昨春、中国支部担当で開催された『支部長会議』で50周年記念事業イベントとして全国規模でのデザイナーズアクセス開催を提案したところ、各支部長の同意が得られ、今回の「JCDデザイナーズアクセス2011」の開催へとこぎつけた訳であります。

ただ各支部ともに秋には既に予定されたイベントがあるので、1月の寒い時期での開催になってしまい、集客確保のため本部の協力を得て、恒例の神田明神での賀詞交歓会をこのイベントに振り替

えてもらうなど、まさに全国あげてのデザイナーズサーキット終盤のビックイベントとして行うことができました。

当日は目標の1500人の動員には残念ながら手が届かなかったものの、皆様方のおかげをもちまして全国から約1200人も参加者が訪れ、大盛況の内に終えることができました。

今後いくつかの反省点を軌道修正しながら毎年恒例のデザイナーズイベントとして定着させたいものであります。

余談として個人的なことで恐縮ですが、今回の会場の近代化産業遺産・名村造船所跡地は私が生まれた玉出からおおよそ2キロぐらいの距離でひじょうに近く、当時「めるぼるん丸」の進水式(1956年)には父親に自転車の荷台に乗せられて見に行った記憶が鮮明に残っております。そんな深く思い入れのある会場での開催でありました。

このアクセス当日の詳細にわたるレポートは各ご担当からありますので省略します。

それからこの6月発刊予定の50周年記念誌も関西支部担当となり、今一度皆様方のご協力を仰ぎながら充実した誌面にまとめたものであります。



第1回 JCD Kansai セミナール

<JCD Kansai セミナール 開催主旨>

JCD賛助委員会は建築インテリアにおけるメーカー企業様があつまり、製品情報の発信や正会員との交流を行っております。しかしながら、賛助会員間では、なかなか積極的な交流もなく、顔を会わせながらも「各社がどのような製品や開発を行っているのか知らない」という声も聞こえました。非常にもったいない事だと感じ、賛助会員間のコラボレーションを、より積極的に行い、新しい「何かを生み出し、公開することで、結果的に正会員のデザイン活動にも役立つ「知識・手法・製品」を生み出せるのではないかと考え、開催に至りました。今後も色々な形で賛助会員のコラボレーションを行います。皆様、ご期待ください。

JCD関西賛助委員会 委員長 藤村 正継



< 第1回 JCD Kansai セミナール >

日時:2010年11月25日(木)
 展示会 14:00~17:00
 セミナー 18:00~19:30
 ドリンクパーティ 19:00~21:00
 2010年11月26日(金)
 展示会 13:00~17:00
 場所:大光電機株式会社 本社1Fショールーム
 セミナー講師:(株)サカイ 本社営業部リーダー 浜本康一氏
 大光電機(株)TACT 大阪主任 高瀬慶之氏
 来場者:34名

平成22年11月24日、25日…第1回目の「JCD kansai セミナール」が開催された。企画・立案は、JCD関西支部賛助委員会の委員長である、藤村正継氏からの発言であった。

「JCD関西支部賛助委員会(賛助企業)の中から発信する事が、大きな意味を持つ!今までは、賛助企業は、JCD会員からの発信による協賛が多かった…これからは、賛助委員の中から発信し、主体として活動する!そこに、JCD会員が参加する…そういったイベントが、必要である!」といった事から、第一回目の賛助委員会は、活気だった内容となった。

そこで手を上げたのが、(株)サカイの本社営業部リーダーの浜本康一氏であった。

「我々は、他の企業と合同して展示会を行いたい。単独で『光と陰』のセミナーを行っているが、照明会社とコラボする事で、更なる提案が出来ると考えます!」…そこに、大光電機(株)の賛助委員会副委員長である尾

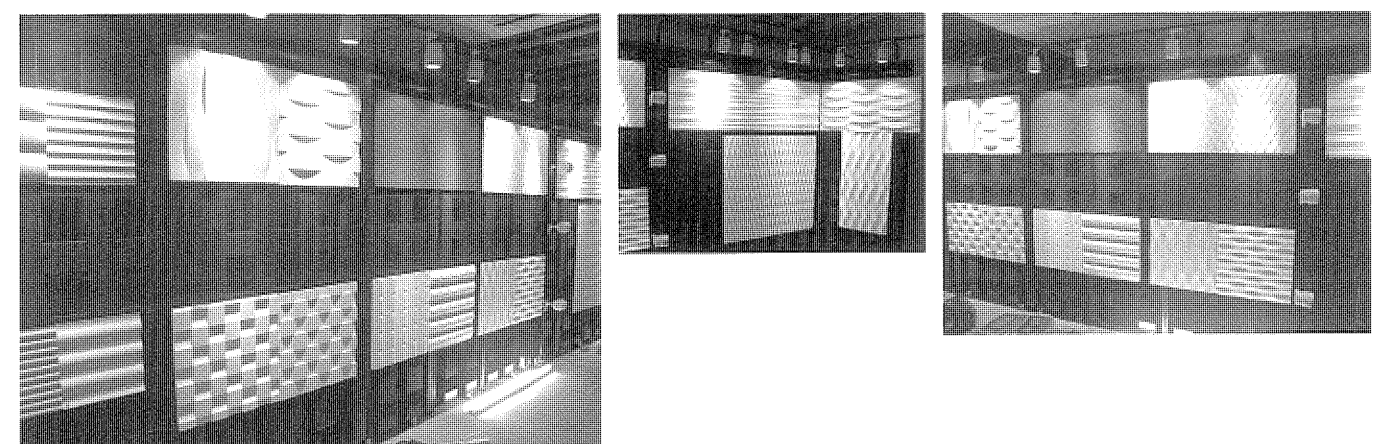
向雅典氏が賛同する事になった。(株)サカイからは、本社営業部 浜本康一氏、大光電機(株)からは、デザイン集団であるTACTデザイナーの高瀬慶之氏が、対談形式のセミナーを行う事で合意した。

(株)サカイのリブ材と、大光電機(株)のLED照明とのコラボレーションはまさに新しい発見が沢山あり、来場者は、それぞれのイメージを膨らませた事と思えます。

また、参加型を目的としていた事もあり、来場者からの質問をその場でシミュレーションを行い、勉強できた事は、今までのセミナーに無い新しい形に見えました。

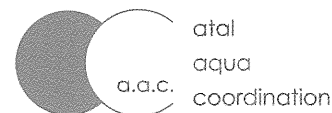
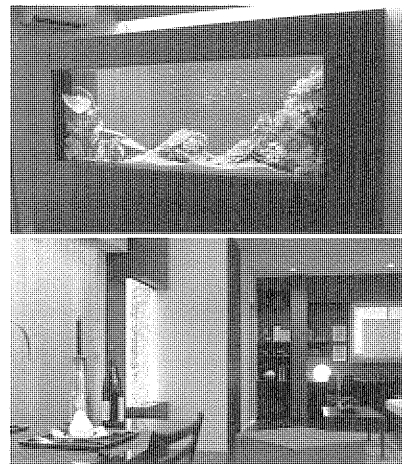
セミナー後のパーティについては、『ノンアルコール・ドリンクパーティ』という事で、せっかく勉強した事をアルコールで忘れてしまうことなく、有意義な時間を過ごせて、次につながるセミナーとなった事と思えます。

次回以降は、新しい企業同士のコラボを期待したいと思えます。



新入会員紹介

浦田 恭資



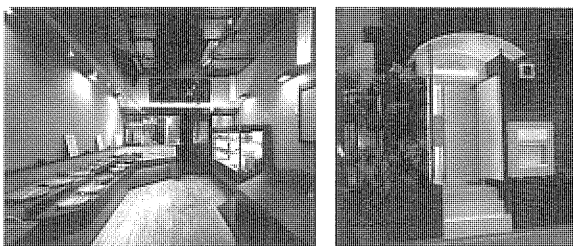
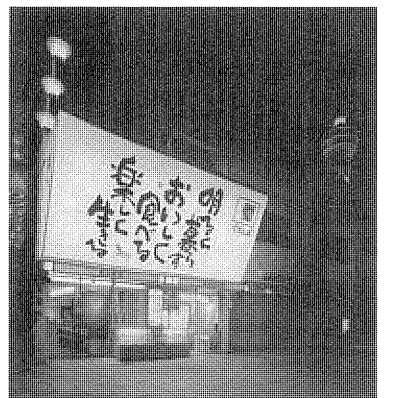
www.aac-aqa.com



浦田 恭資 urata kyosuke
 アクアコンストラクター
 大学在学中より、熱帯魚水槽管理
 会社にて業務委託に従事。
 仕事の傍ら専門学校にて建築や
 インテリアコーディネート学ぶ。
 約8年の業務委託の末、会社設立。
 アクアリウムの企画・設計・施工・
 メンテナンスを一貫して行う。
 インテリアに合わせた水槽提案と
 長期維持のメンテナンスを得意とする。

株式会社 a.a.c. 〒550-0003 大阪市西区京町堀3-3-23 TEL/FAX 06-7172-3572

大田 耕造



JCDに入会させていただき、あらためて商業の概念、
 店舗の機能を見つめ直し、より新しいノウハウを築いて
 いくために、つながりや情報を広げて行きたいと思っ
 ています。 よろしくお願いたします。

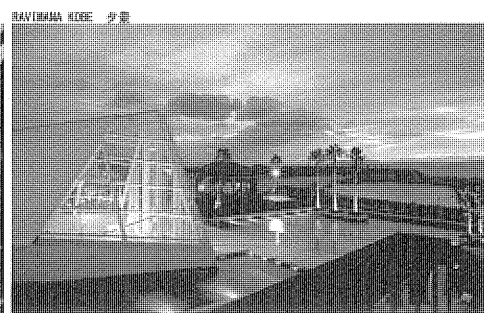
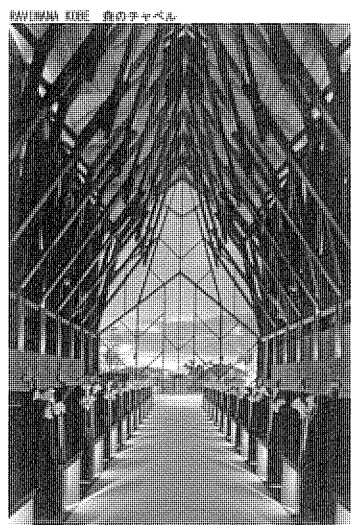
大田 耕造
 Kozo Oota
 商業施設士(19-05348)

有限会社 現代店舗
 〒556-0016 大阪市浪速区元町 2-1-8
 TEL 06-6641-7068
 FAX 06-6633-2788

E-mail gendai-tenpo@deluxe.ocn.ne.jp
 http://www.gendai-tenpo.co.jp

+ **9** プラス・ジー:つねにより以上をめざす現代店舗のスタンスです。

栄 隆志



Abax Architects

http://abax-arc.com/

有限会社アバクス・アーキテクツ 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-14 キャメルビル3F

一級建築士 栄 隆志

新入賛助会員紹介

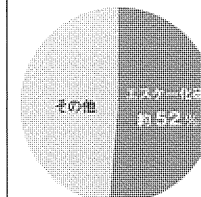
エスケー化研株式会社

建築仕上塗材で国内シェアNo.1

ライムストーン調軽量シート建材「SKライムテイル」

エスケー化研は、創業昭和30年。
 以来55年にわたり、
 建築塗材や特殊塗料の分野において、
 「快適」「健康」「安全」「安心」「環境」
 をテーマに、より良い生活文化の創造、
 住生活環境の向上に努めて参りました。
 今まで培った技術を
 内装仕上材の開発
 に活かし、商環境の
 プロデュースをお手
 伝い致します。

建築仕上塗材シェア



2009年NSK工業会
 (日本建築仕上材工業会)
 の統計による

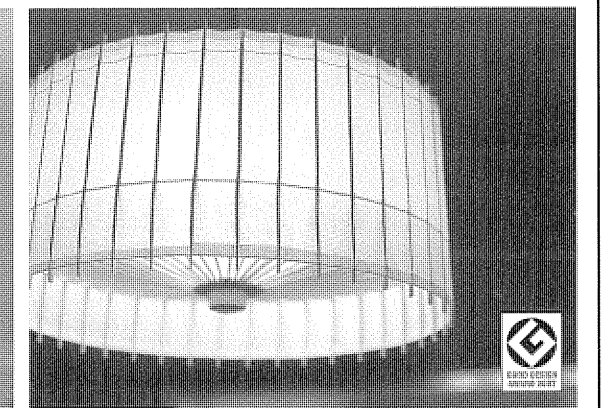


エスケー化研株式会社

〒567-0034 本社:大阪府茨木市中穂積3-5-25

TEL:072(621)7733 FAX:072(621)7734 HP:http://www.sk-kaken.co.jp/ 担当窓口:都田(みやこだ)

株式会社 日吉屋



古都里 & Your idea

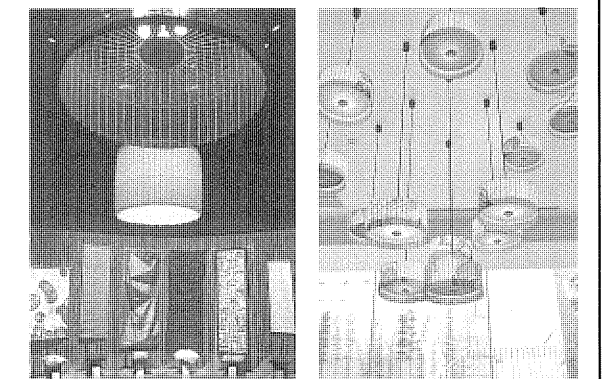
京和傘を太陽にかざした時の和紙のやさしい光と、幾何学模様の
 織り成す竹骨の美しさ。それをもっと皆様知って頂きたい…。
 創業江戸後期、古都京で五代続く和傘の老舗「日吉屋」。
 その伝統美を活かしたシンプルで新しい照明「古都里」。和傘のように
 折り畳みが可能で、全て手作りのため特注要件に幅広く対応可能。
 建築デザインに合わせてお色やサイズも自在に承っております。
 2007年グッドデザイン賞受賞。

江戸後期創業/茶道家元・宮内庁御用達

株式会社 日吉屋

〒602-0072 京都市上京区寺之内通堀川東入百々町 546

TEL. 075-441-6644 / FAX. 075-441-6645 / E-MAIL. info@wagasa.com / HP http://www.wagasa.com 担当窓口:平山大輔



JCD関西支部活動報告

2010年度支部総会

交流委員会 大東 俊也

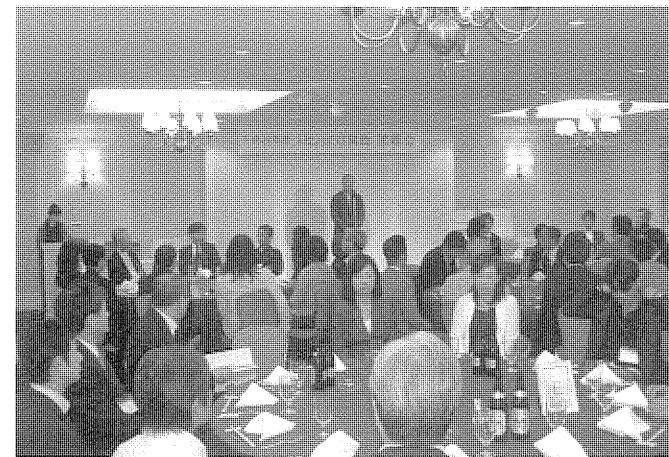
2010年度最初の行事として、毎年恒例の支部総会が2010年6月7日(月)に太閤園にて行われました。

支部総会では、今年度の役員の見直しや50周年事業の概要が発表されました。

ときには、ヒートアップする場面もありましたが、それは、会員の皆様の関西支部に対する思いが熱いということ。予定時間も少しオーバーしましたが、非常に有意義な総会が開催できました。

懇親会会場に場所を移し、懇親会のスタートです。

支部長の挨拶に始まり、今年度の各委員会がメンバーの発表やら、委員会の意気込みを語ってもらいました。



<JCD関西 支部総会>
日時：2010年6月7日(月)
場所：大阪「太閤園 エメラルドルーム(支部総会) オーキッドテラス(懇親会)」

賛助会員の皆様は、各社のPRブースに新商品等を置いて、正会員との交流を図り、自社の商品アピールに力が入っていました。

年度最初の行事で、右も左もわからない交流委員会でしたが、皆様に助けられながら、熱い総会&楽しい懇親会ができ、今年度もJCD関西は安泰だと感じました。



日本の空間デザイン展2010

支部長 末浪 伸浩

『日本の空間デザイン展』が、12/1~6の期間で去年同様「大阪市立住まい情報センター4階情報プラザ」にて開催されました。

開催初日にはUSD-Oフォーラムが3階ホールにて行われ、DDA,JCD,SDAが各団体受賞作品の説明をした後、JID賞ビエンナーレ大賞受賞の(株)竹中工務店・内海慎介氏が「佐川美術館 楽吉左衛門館」について受賞講演をされました。企画計画段階から施工時の様子等興味深い話を聞く事が出来ました。続いて近畿経済産業局・田口一江氏が「デザイン政策の動向について」と題して講演されフォーラムは締めくくられました。

JCDブースは例年通り JCD Award 2010の展示でした。大賞作品はSDAとの重複受賞となり、受賞者を招いての共同イベントの開催も声が挙がっていました。改めて検討したいと考えております。

空間デザイン系4団体(DDA,JCD,JID,SDA/昨年まではOISも参加)が共催出展するこの作品展も、これからは時代背景を捉え形式や方法を検討する時期であるように感じられます。

<日本の空間デザイン展2010>
日時：2010年12月1日(水)~6日(月)
場所：大阪「大阪市立住まい情報センター4階情報プラザ」



平成22年度 第2回大阪市あきないグランプリ JCD賞決まる

評議員 山田 悦央

大阪市あきないグランプリは個店経営力の向上や魅力ある個店づくりを推進することで商店街の活性化を図り、商店街の魅力を広く伝える事を目的として大阪市商店会総連盟が主催して行う店舗コンクールであります。

JCDでは、協賛としてJCD賞(店舗部門)というかたちで店舗デザインに優れた5店舗に授与しました。

JCD賞は下記の5店舗です。

- ・福すし(北区 ウメダ地下センター商店街振興組合)
- ・そば切りからに(福島区 聖天通商店街振興組合)
- ・丹青堂戎橋本店(中央区 戎橋筋商店街振興組合)
- ・四季 旬香(阿倍野区 あべの巴通り商店会)
- ・HAZE of hair(平野区 長吉中央商店街振興組合)



福すし



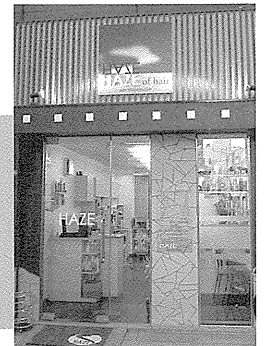
そば切りからに



四季 旬香



丹青堂戎橋本店



HAZE of hair

JCD関西ビアパーティー

交流委員会 大東 俊也

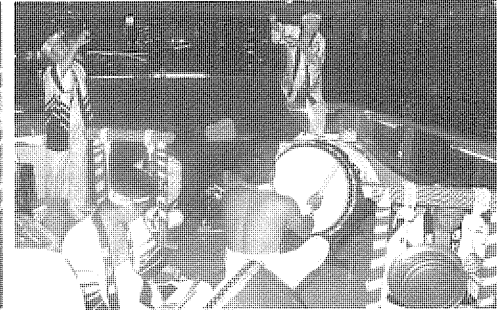
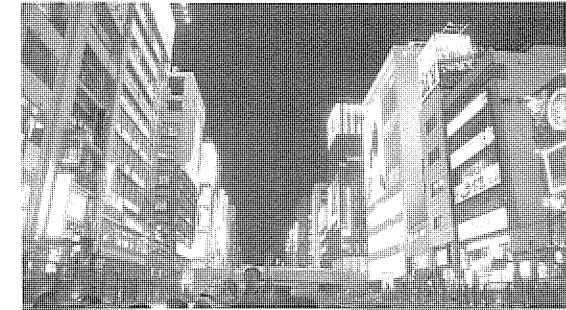
JCD関西の会員の交流の場として、9月14日(火)に船上ビアパーティーを開催しました。

今年の交流委員会のテーマは、「楽しく・楽しく・楽しく」です。単なるビアパーティーでは面白くない。例年になかった猛暑を振り払い、普段では体験できない楽しいことはないか?ということで「JCD関西夏祭り」と題しまして、道頓堀川に船を出し、お雑子を聞きながら、食べて飲んで踊って、ドンちゃん騒ぎをしようということになりました。当日は、正会員、賛助会員、入会を検討されている方が約50名集まりました。

港町リバープレイスを出港し、まずはお弁当を食べ、お酒を飲み、道頓堀の歴史などを聞き、橋の上や遊歩道の

<JCD関西ビアパーティー>
日時：2010年9月14日(火) 19:00出航
場所：大阪「湊町船着場(湊町リバープレイス)」

人に手を振ったりしながらクルーズしました。東横堀川を抜け、大川に出た頃には、お腹も満たされ、ほろ酔い気分です。そこで、凜打講の皆さんの登場です。太鼓と鐘の心地よいお雑子を聞き、龍踊りを見て、船上のムードはさらに盛り上がっていきました。一人また一人と見よう見まねで龍踊りを踊りだし、道頓堀川に帰ってきたころには、全員総立ちで、予定通りのドンちゃん騒ぎとなっていました。太鼓や鐘の音を聞いたり、お祭りでテンションが上がるというのは、古来から日本人の心に根付いているのでしよう。船上のメンバーは、我を忘れて、まずは自分が楽しみ、そして周りのメンバーと楽しみ、さらにそれを見ている遊歩道の通行人も楽しんでいる。一人の楽しさが周りに波及しているようでした。大阪の街を明るく元気にできたのではないのでしょうか?



第31回JCD・DDA合同チャリティー絵馬展

市川 邦治

第31回新春吉例のDDA・JCD合同チャリティー絵馬展が、昨年と同じ「京阪シティモール・天満橋」にて、1月6日(木)～13日(木)まで開催され、JCD関係者の作品133点が展示されました。

(株)京阪流通システムズさんの広報活動や、過去応札いただいた方の名簿を蓄積し年賀状として案内状をお届けするなど、来場者増加策が効果を上げ、大勢の方に来場いただきました。

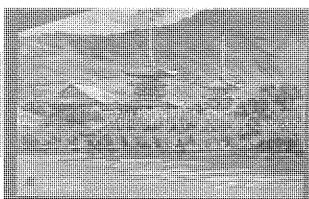
本活動は、昨年から、交流委員会活動から外し、有志による「絵馬展実行委員会」にて実施されました。落札いた

だいた方へ1月末に作品発送を終え、入金いただいた義捐金は後日大阪府福祉基金に寄付されます。

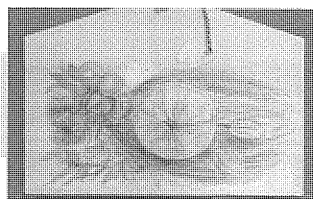
年末の忙しい時期にもかかわらず出展いただいた方、当番の人員が少なく一人当たりの時間が長時間になり申し訳ありませんでした。多くの方々のご協力に感謝いたします。

来場者数	867人(DDA調べ)注:本年は開催日が1日少ない。 (昨年約1,500名 一昨年約1,480名)
出展作品数	133点(昨年127点 一昨年140点)
応札総数	179件(昨年159件 一昨年218件)
落札件数	94件(昨年91件 一昨年93件)
落札率	71%(昨年72% 一昨年66%)
義捐金総額	約22万円(昨年約22万円 一昨年約24万円)

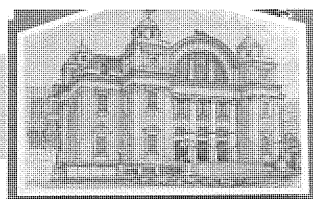
高額落札作品ベスト3 (作品番号順)



原田隆夫さんの作品



岡修作さんの作品



白井進さんの作品

るるぶ会 松山・内子・大洲スケッチの旅 2010年11月26日～29日

金沢 明彦

26日(金)大阪南港フェリー乗場に21時30分集合し、22時00分乗船、22時30分フェリーは出港した。今回は時間をフルに使えるように、夜行フェリーを利用して、3泊4日の松山・内子・大洲のスケッチの旅に出た。訪れた場所は、田丸橋、内子の町並み、内子座、大洲町並み、臥龍山荘、小藪温泉、大洲城、宇和の町並み、松山城、道後温泉であり、散策や見学やスケッチを行った。帰りは夜行フェリーに乗り、29日(月)の朝6時に大阪の南港フェリー乗り場に帰り着いた。

誌面の都合があるので、その中で印象が深かった、内子、大洲、小藪温泉を紹介したい。

内子町は、愛媛県の南予地方に位置する町である。ハゼの流通で財をなした商家が建ち並ぶ町並みを保存し、白壁と木蠟を売りにして、まちづくりを進めてきた所である。内子座は明治末から大正にかけて内子の町が木蠟や生糸などの生産で栄えていた頃、地元の人々の娯楽の場として企画され、大正天皇の即位を祝して地元有志の出資により創建された。農閑期に歌舞伎や文楽、後に映画や落語なども演じられた。その後老朽化により取り壊されようとしていたところを、まちづくりの核として町民の要望により復原され、今日に至り、歌舞伎のほか、各種講演やまちづくりの会合等に活用されている。

次に訪れた大洲市は、愛媛県の南予地方に位置する町で「伊



予の小京都」と呼ばれる。肱川の流域にある大洲城を中心に発展した旧城下町で、江戸時代初期の大洲は藤堂高虎の所領であり、大洲城主として丹羽長秀の子で高虎の養子である藤堂高吉が在城した。2004年に復元工事があり、本丸跡に4層4階の天守を築き、現存する重要文化財の台所櫓と高欄櫓を結ぶ多門櫓を復元するというもので、史料の詳細な分析に基づく正確な復元が行われ、戦後初めて木造の天守を完全に復元した。しかも19.15mという復元された木造天守としては日本一の高さを誇っている。臥龍山荘は、肱川随一の景勝地に臨む三千坪の山荘で、臥龍院・不老庵・知止庵の三建築は、それぞれ数寄をこらした逸品揃いである。春夏秋冬、四季折々に深い趣きがあり、河内寅次郎が構想10年、工期4年と、その情熱の全てをそそいだ最も苦心した建物である。母屋の臥龍院は数寄屋造りで、清吹の間は欄間の透かし彫りにより水の流れを表現し高い天井には屋久杉が使われ、壺是の間は桂離宮様式が色濃く現れ、霞月の間は縁に仙台松の一枚板が使用されるなど各所に創意工夫がなされている。不老庵は風光明媚な肱川の臥龍淵の崖の上に建てた数寄屋造りで、生きた槇の木が捨て柱として使用されている。

宿泊した小藪温泉は、山間の静かな温泉で、近郷の人々に利用されてきた温泉であり、観光地化されていない。1922年竣工と推定される木造三階建入母屋造の旅館が一軒のみ。1876年温泉を開業、明治30年代に旅館の営業が始まった。現在の建物は、大正時代に完成したものとされるが、正確な資料は残存していない。文化財登録されている。また、「温泉遺産」に選定されている。

以上鄙びた中に、見応えのある旅であった。

トータルインテリアメーカー



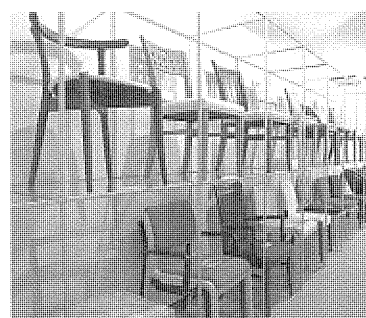
シンコー株式会社

http://www.o-sincol.co.jp

〒577-8525
大阪府東大阪市長田東3丁目3番16号
TEL(06)6747-5291 FAX06-6747-5846

取扱商品

壁紙(クロス)
カーテン・ロールスクリーン
カーペット(ロール・タイル)
長尺シート・CF(ボンリウム)
椅子張地(レザー・テキスタイル)
塩ビ床タイル(マットネラ)
椅子・テーブル(サンコスモ)
など

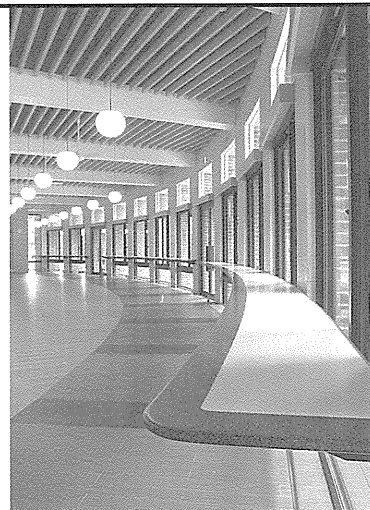


ADAL

業務用イス・テーブル及び注文家具 製造 販売

株式会社 アダル 大阪支店

〒556-0014
大阪市浪速区大國町1丁目2-21 NICビル602号
TEL:06-6646-4141
FAX:06-6646-4488
ホームページ <http://www.adal.co.jp>
担当:平田・清水
E-mail:e.hirata@adal.co.jp (平田)
shimizu@adal.co.jp (清水)



人工大理石製造・各種人工大理石加工販売
Good Thinking & Good Quality

和田商事株式会社

大阪市中央区北久宝寺町2-6-10
ニューライフ船場607号
TEL:(06)6245-0331
FAX:(06)6245-0332
<http://www.wada-shoji.co.jp>
E-mail:info@wada-shoji.co.jp

Needs & News

スーパーマテリアルズ



国内外のデザイナーとコラボレートすることでクオリティを極め、今までにないオリジナリティを実現した『空間創造タイル建材コレクション』です。

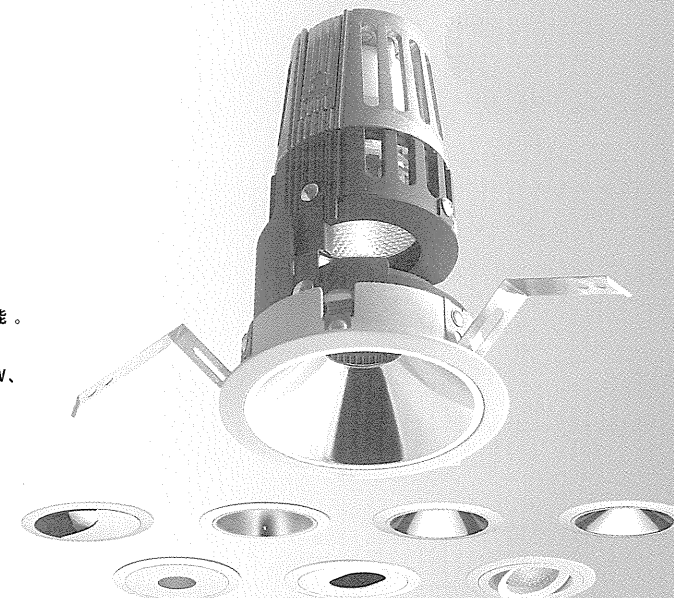
クリヤマ株式会社
大阪市淀川区西中島1丁目12番4号
建設資材営業部 建材チーム
TEL:06-6305-5611
FAX:06-6305-5615
<http://www.kuriyama.co.jp>

INFIT 085

New Standard Down Light

それは、ライティングデザインの現場から生まれた、コンパクトダウンライトのニュースタンド。

- 多彩なタイプバリエーション、豊富なカラーバリエーション、光源のバリエーションで、様々な空間・ライティングプランへの対応が可能。
- 光源にはφ50ミラー付ランプを採用しています。マイクロハロゲン球(アドバンス)12V50W、クールコートハロゲン球40W、パワフルなライティングを実現するセラミックメタルハライドランプのCMH-R35Wを設定。また、LEDの展開も予定しています。
- オプション装着が可能で、光の演出の幅が広がります。
- 埋込穴φ85mmでありながら、枠幅も狭くスリムでスッキリしたトリムフォルムがコンパクト感をキープ。
- ウォールウォッシャーは、従来では得られなかったワイドでソフトな光のグラデーションを実現。



マックスレイ株式会社 <http://www.maxray.co.jp>
〒536-0014 大阪市城東区鶴野西2-18-6 TEL.06-6967-0140 (代) FAX.06-6962-5988
東京 03-3791-2711 大阪 06-6967-0123 名古屋 052-252-9556 福岡 092-431-7824

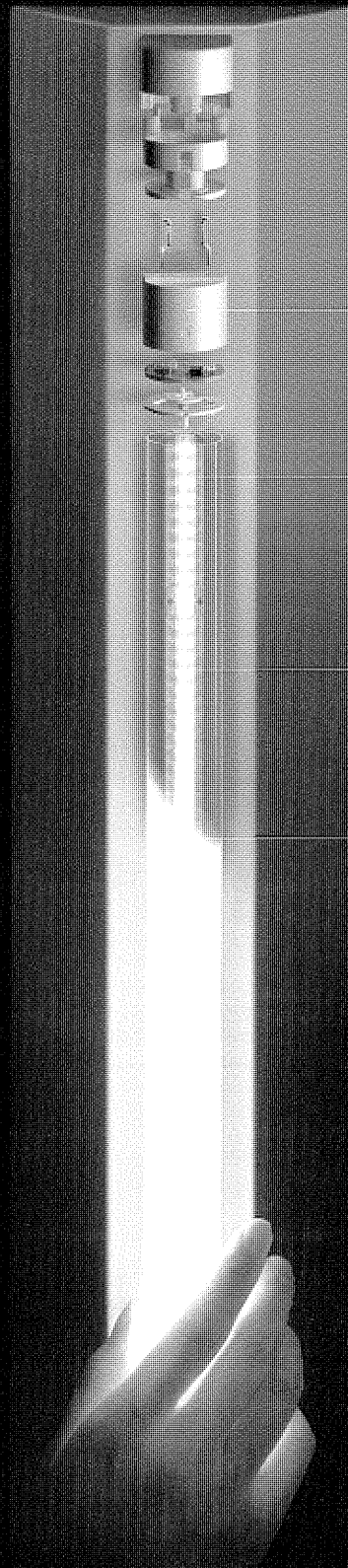
ISO 9001 認証取得
ISO 14001 認証取得
FM 523978 / ISO 9001:2008
EJ 01838 / ISO 14001:2004



Panasonic
ideas for life

革新LED、誕生。

(社)日本電球工業会によりこのほど定められた、直管形LED器具の安全性・照明環境維持を図る性能規格(JEL規格)に準拠。さらに上を行く光を追求したベースライトが、待望の新登場です。



誤挿入防止・新口金システム

蛍光灯用の口金と異なる形状にすることで、ランプの誤挿入を防止。安全性を確保します。

40,000時間の長寿命(光源)

長寿命技術と、劣化が少なく反射効率のよい基板素材(セラミック)により、長期間明るさが持続します。

演色性(Ra)84

バルック蛍光灯と同等まで高めた、色合いの再現力。空間を自然な色調で照らします。

セルフコントロールで省エネ

初期のムダな明るさ(電力)を、照明器具が自動的にカット。大幅な省エネを実現します。

2000時間以上24時間連続発光

【富士製器具】



【環込型(フリーコンフォート)】

※メインで使用しております商品画像はイメージです。

EVERLEDS

エバーレッズ

パナソニック電気株式会社 商業照明EC

〒540-6217 大阪府大阪市中央区城東2丁目1番61号 パナソニックタワー17階北 TEL.06-6945-7805 詳しくは ***denko.panasonic.biz/Ebox/everleds/